

上杉謙信が 三回も攻めた城

「増山之事、元来險難之地」
(増山城は、古くから攻めるのが難しい城である)



Q 増山城ってどんな城？

増山城は、松倉城（魚津市）・守山城（高岡市）とともに越中三大山城とよばれる、富山県を代表する「山城」です。富山県内にある400以上の山城の中でトップ3！

Q 山城とは？

山や谷などの自然の地形を利用したり、土を掘ったり盛ったりして防御の工夫をした城のこと。日本全国には3~4万の城がありますが、その99%は山城です。

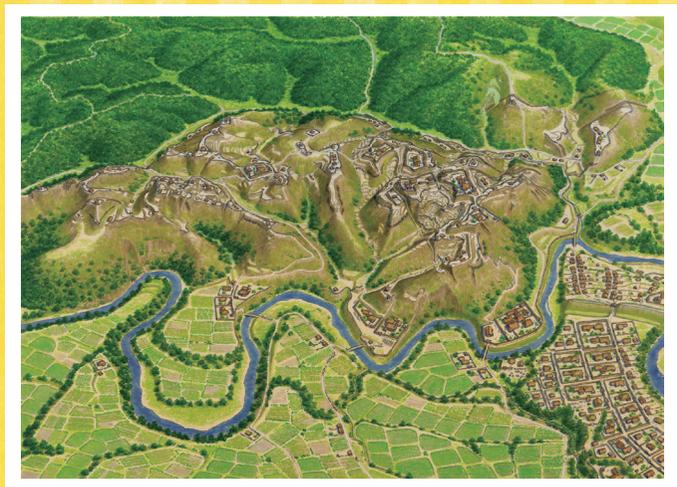
Q 増山城はいつ作られたの？

今から約650年前の南北朝時代に作られたと考えられています。このころは、「和田城」と呼ばれていました。

Q 増山城はだれの城なの？

増山城は、数多くの戦いの舞台となり、めまぐるしく城主が交代してきました。それぞれが城の修理や増築を行い、現在の城のつくりができました。

増山城の基本的な形は、神保氏が整えたと考えられています。放生津（現在の射水市新湊地域）を本拠地としていた一族で、1460年代から1570年代まで城を支配。この間、上杉謙信は城を3度も攻めています。謙信死後、織田氏・佐々成政・前田氏が城主となり、最後に城を守ったのは前田家臣であった中川光重。不在の期間が長く、実質的には妻の蕭が守っていました。蕭が亡くなった1600年代初め頃に、城として使われなくなったと考えられています。



DATA



国指定史跡 増山城跡 ますやまじょうあと

指定の名称	● 増山城跡
指定年月日	● 平成21年7月23日 令和3年3月26日
所在地	● 富山県砺波市増山地区内
面積	● 601,222.47㎡
所有者	● 砺波市・個人
管理団体	● 砺波市

増山城リーフレット 制作・発行

増山城解説ボランティア曲輪の会
〒939-1431 富山県砺波市頼成 566
(砺波市埋蔵文化センター内)
TEL/FAX 0763-37-1303
<https://www.city.tonami.toyama.jp/blog/group/kuruwa/>

【監修】砺波市教育委員会 生涯学習・スポーツ課
〒939-1398 富山県砺波市栄町7-3
TEL:0763-33-1609
FAX:0763-33-1157
E-mail:shogaku@city.tonami.lg.jp



Q 増山城のおごいところって何？

- ①規模がとても大きいところ。県内でトップクラス！
- ②守りがかたく、攻められにくいところ。城主がいたと考えられる二ノ丸を守るように、堀切などのさまざまな工夫や施設があります。
- ③見晴らしが良いこと。富山県の西部を見渡せたのではないかと考えられています。

Q 城の施設には、どんなものがあるの？

城を守るための施設には、下のイラストのようなものがあります。

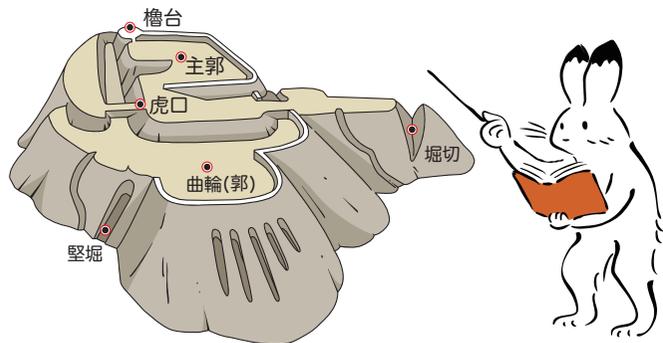
くるわ くるわ 曲輪(郭) 地面を削って平らにした、城の一区画のこと。山に平らで広い場所はあまりないので、堀を掘った土などを使って作りました。

しゅかく 主郭 城主が住むところで、城の中心となった最も重要な場所のこと。

こぐち 虎口 城への出入り口。

やくらだい 櫓台 遠くを見渡すために設けた高い台。主郭のすみなどに作られ、敵の監視や攻撃を行う。

ほり 堀 敵が城内に入れないようにするため、掘られたもの。山城の堀は、ほとんどが水がない空堀です。斜面に平行に掘った堅堀や、尾根を切って作った堀切などがあります。



1 大手口(おおてぐち)

おおて 大手とは、城の正面のこと。当時の門が残っていないため、どこが大手かははっきりしていませんが、現在の冠木門は大手の候補の一つです。

2 一ノ丸(いちのまる)

本来一ノ丸とは主郭を指しますが、構造的に主郭とは考えにくいですが、眺めが素晴らしいので、ぜひ見てみよう。

3 二ノ丸(にのまる)

主郭。数々の曲輪は、二ノ丸を守るように配置されており、敵がもっとも侵入しにくい場所です。その中で最も高い位置にある鐘楼堂には「天守」のような建物があった可能性があります。

4 無常(むじょう)

西側斜面に堅堀が6本つらなる連続堅堀群が見つっています。この堀は敵の横移動を防ぐためのものです。

5 三ノ丸(さんのまる)

L字形の大きな堀が周りを囲んでおり、敵を寄せ付けません。

6 安室屋敷(あぢややしき)

北側から東側にかけて土塁が残っています。「安室」とは、引退した城主の住居を意味しています。